



優しい風の吹く街

第40号 2014年 冬号



手塚治虫記念館 11/5

「ブラックジャック創作秘話展」

新しい年が始まりました。私自身も今年一年を決意を新たにスタートしたいと思います。さて、議会には十分な論議を交わし、市長・行政の政策をチェックするという大きな使命があります。宝塚市議会では、その論議の内容を市民の皆さまに伝えるため「議会報告会」を開催しています。

私自身も市政レポートやホームページで議員活動報告を続けています。今年も一生懸命がんばりますのでご指導ご助言をよろしくお願いいたします。

活動報告～抜粋～

「議会報告会」 プレミラ宝塚(11/9)

各常任委員会と議会運営委員会、そして懲罰特別委員会の報告。私は司会を務めました。

「市立病院の決算認定」

「上下水道の決算」財政、

公共用地取得、中央公民館耐震化などについても質問・意見がでました。いただいた貴重な意見は今後に活かしていきたいと思っています。

ご参加ありがとうございました。



待機児童解消に関する調査特別委員会行政視察

・神奈川県相模原市(11/12)

2011年度から1330名の定員増が図られ、家庭的保育事業では連携保育所の行事に参加でき3歳以降の受け皿になっている。

・千葉県松戸市(11/13)

子育てに関する総合相談を行う「子育てコーディネーター」が配置されている。

本市の待機児童施策の参考にしたいと思います。

「市民と議員の条例づくり交流会議 in 宝塚」(10/19)

甲子園大学にて

・全体会は、廣瀬克哉法政大学教授の講演

・分科会は、議会報告会、市民の政策提案、公開討論会等のテーマ

・宝塚ホテルでの意見交換会では、各地の議会改革を報告

市民参加も多く活発な意見交換ができました。



宝塚市役所エクスカージョン(10/20)

放火事件から考える危機管理(復旧現場視察)



10月 5日 宝塚市国際交流協会25周年記念式典
10月11日 宝塚市戦没者追悼式
10月14日 宝塚音楽回廊
11月 3日 宝塚市武道連盟30周年武道祭

11月9～10日ひょうご教育フェスティバル
12月2日 全県網の目要請行動
12月7日 阪神政策研究会
11月5日 市議会人権研修会



1. 消費者行政・消費者教育について

①悪質商法による被害や環境問題、食の安全・安心に関する問題など、消費生活に関する社会問題は、複雑化し、深刻なものになっている。

〈市長答弁〉「消費者が豊かになること」「消費者が自立すること」が大切であるとの基本認識のもと、様々な取り組みを行っている。

②消費生活センターにおける相談体制とトラブル対応状況は。

〈市長答弁〉公民館と連携して市民力レッジ「消費生活コース」を開設。消費生活情報誌を発行。啓発に取り組んでいる。

③啓発活動、消費者教育の現状と課題解決の方向性は。

〈市長答弁〉専門の相談員が情報の提供や助言を行っている。

④小中学校におけるメディアリテラシー教育について

(1)基本的なスタンス

(2)中高生のネット依存が問題になっているが、10歳未満の児童についての相談が増加傾向にあり、トラブルが低年齢化してきている。

(3)LINE等の、SNSにおける人間関係のトラブルは、いじめにつながる深刻な問題。対応策は。保護者や地域との連携や学習も必要だ。

〈教育長答弁〉子どもたち自身が情報を正確に読み取って、判断できる力をつけることが非常に重要。

ネット依存が原因とみられる睡眠障害や集中力の低下など、生活習慣が大きく乱れている児童生徒の存在が課題。担任が中心となり教育相談やスクールカウンセラーと連携。

「考えてみませんか？ネット・ケータイ」という、携帯電話やスマートフォン、インターネットやラインなどについてリーフレット作成し保護者に配布し啓発に努めている。



2. 「身体障害者補助犬法」について

①「身体障害者補助犬法」成立後の本市の取り組みは。

〈市長答弁〉心と環境と制度のバリアフリーをすすめ、ノーマライゼーションの理念を実現していくことの象徴となる「シンシアのまち宝塚」をキーワードに啓発の取り組みを進めた。

②法が成立したとはいえ、社会の理解が進まぬ現状認識と課題解決のために宝塚から発信すべきことは。

〈市長答弁〉来年から「ほじょ犬の日」となる5月22日を軸に補助犬の周知イベントを開催する。さらに市内の各種イベントを利用し、補助犬支援団体と連携して啓発を行い、飲食店をはじめ各種店舗での補助犬の理解を深めていきたい。

3. 社会教育について

①宝塚の市政運営のなかでの社会教育の位置づけと目標は。

〈市長答弁〉人として豊かに生きるためのサポートを行うことで、教養の向上、健康の増進等を図り、協働のまちづくりを推進する人材を育てる大切な要素として位置付けている。

②宝塚をもっと知ってもらうために、市政60周年にあたり、市の職員や学校の教職員、商店の方々、様々な人々へ「宝塚学検定」の受験を勧めてはどうか。自ら考える市民や職員の存在が、市民力アップとなり、必ず宝塚市の発展につながる。

〈市長答弁〉宝塚学検定は、様々な魅力をもつ宝塚についての知識を広め、宝塚への愛着を深めることが目的だ。検定の受験を積極的に働きかけている。私も受験したいと考えている。

③公民館講座の内容は、地域課題や現代的課題、文化教養ニーズに応えるコース等、また消費生活センターとの連携等、よい内容で評価できる。さらなる深まりや不参加の人へも広げる「次の一手」は何か。

〈社会教育部長答弁〉学習成果を地域の活性化に結びつけ実践へとつなぐフォローアップをしていく。

4. 教職員の校務支援について

①職場の多忙化に歯止めがかからず、教職員をとりまく環境は年々悪化している。「教員の働きがいに関する総合意識調査」では、労働時間や職務負荷の面で強いストレスを感じながらも、極めて高い熱意をもって働く姿が明らかにされている一方で、身体的にも精神的にも無理すぎた結果、疲弊し燃え尽きてしまう危険性が指摘されている。本市における実態は。

〈教育長答弁〉本年2月に県教育委員会が「教職員の勤務時間適正化新対策プラン」を策定。このプランにもとづき、教職員が心身ともに健康で児童生徒と向き合う時間を確保し教育活動をさらに充実させる。

②教職員が子どもとじっくり向き合える時間を確保し、ゆたかな学びを保障するためにも、人的配置増とともに、情報の処理や報告・事務作業等の軽減が必要ではないか。

〈教育長答弁〉校務支援システムを導入している西宮市の教職員調査によると82.6%が「システム導入が校務負担の軽減に役立っている。」と回答し、事務時間の削減効果が得られている。また、児童生徒の情報を一元管理し、個人カルテとして活用することで、きめ細かな学習指導や適切な進路指導を実現する力にもなっており、本市教育の「質の向上」につながると考える。

③高等学校の入試制度が変わり、学区が拡大する。
中学校においては、その大きな変化に対応するため、教職員の研修なども進められているが、生徒の成績などのデータ処理は学校ごとに違う方法で行われているのが現状である。

まわりの市町村では、既に校務支援システム導入により、全市的な「成績処理」のデータベース化と一元化が進んでいるが…。

〈副市長答弁〉ICT環境の導入初期の効果がおよばなかったが、改めて点検し有効活用できるように至急に議論していく。

④平成25年度から、兵庫県内すべての公立学校に、週1回以上の「定時退勤日」を設定・実施することになったが、本市での取り組みはどうか。

〈管理部長答弁〉週1回の定時退勤日を設定しているが、守られているのは半数にとどまっている。

〈北野意見〉仕事に集中し、生活も大事にするワークライフバランスの実現が求められる。保護者や地域住民にも周知理解を図ることが必要である。

中央公民館移転を考える

11/26

◆中央公民館の存続と地下移転計画の見直しを求める請願（伊子志自治会・逆瀬川自治会など地元5自治会から）

◆宝塚市立中央公民館の存続と半地下・地下移転の見直しを求める請願（「中央公民館の今後を考える会」利用者団体からの請願）

請願者は、利用するのは高齢者が大多数をしめるなか災害発生時の安全確保が難しいことや、維持経費も高いこと、学習活動や創作活動に自然光の入らない部屋は望ましくないこと等を訴えられました。

私は両請願の代表紹介議員として、住民への説明不足や経費比較について質疑に答え「人々に愛され安心できる公民館」を作るべきと、賛成討論も行いました。3時間の激論の末、両請願とも採択されました。市はこのような住民の声を受け止め、早急に中央公民館の今後の方向性を示すべきです。



□頭陳述中の自治会代表のNさん
文教生活常任委員会にて

～風のココロ～

国民の知る権利や表現の自由が奪われるのではないかと多くの懸念や反対の声を無視する形で「特定秘密保護法案」が強行採決されました。残念です。

これから私たちに何ができるのかしっかり考え行動していきます。

宝塚市退職教職員の会「秋の催し」バスツアー

12/6

ピンクのバスに乗って34名出発！まずは、琵琶湖の湖西、比叡山の麓に鎮座する日吉大社は、およそ1200年前に創祀された、全国3800余りの分霊社（日吉、日枝、山王神社）の総本山だそうです。広大な境内には約3000本ものもみじがあり、関西屈指の紅葉の名所です。ゆったりと境内を散策して、過ぎ行く秋を感じ郷愁に浸りました。いい時間でした。



ユニットF宝塚

第30回 『駅前議会』

◆日時 2014年2月23日（日）

13:15～15:30

◆会場 宝塚ホテル東館2Fロゼの間

◆内容 ①12月議会の報告
②「施政方針」を読み解き
意見交換

◆参加費 500円（珈琲代として）

みなさまのご参加お待ちしております。

◇発行人◇ 北野さと子

◇連絡先◇

〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209

Tel&Fax 0797-73-4556

ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>